

目次

紀要

古代日本における注釈……………	白藤禮幸 …… (3)
「…なれや」の解釈をめぐって……………	中山幸子 …… (23)
——『万葉集』から『古今和歌集』に至るまで——	
『後撰和歌集』七一〇番歌の子について……………	塩島翔 …… (51)
——時平の妻取婚説話からの藤原敦忠、滋幹の出生の考察を踏まえて——	
「近代の物語」序説——内田百閒「旅順入城式」……………	大谷哲 …… (75)
——映画と語りの振幅、その内と外——	
中島敦「山月記」の世界……………	新井通郎 …… (111)
存在への凝視……………	佐々木義登 …… (131)
——太宰治「東京だより」論——	
『李氏粹語』と李星湖と『四七新編』……………	小川晴久 …… (149)

創立130周年記念若手研究者入賞論文集

『枕草子』と孟嘗君の「三千の客」……………	沼尻利通 …… (181)
——「頭弁の、職にまゐりたまひて」章段における藤原行成の発言を中心に——	
「作者」の中の老妓……………	舘 健一 …… (201)
——岡本かの子「老妓抄」と能の構造——	
勇者の条件……………	佐々木義登 …… (225)
——太宰治「走れメロス」論——	
記録と思索……………	松本和也 …… (249)
——武田泰淳『司馬遷』精読	
『剪灯新話』の翻案とアジア漢字文化圏怪異小説の成立……………	金 永昊 …… (277)
——地獄譚「令狐生冥夢録」の翻案を中心に——	
『紅樓夢』に見える門の役割……………	植松宏之 …… (309)